

保育所における自己点検・自己評価

- A : たいへん良い
 B : 良い
 C : 一部検討を要する
 D : 改善を要する

項目	内容	評価				意見・改善策		
		A	B	C	D			
保育目標について	(1) 保育目標を具体化し、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				乳幼児の発達を理解・把握した上で目標設定をした。		
	(2) 設定した重点目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				コロナ禍、個人面談や懇談会は中止になったがご意見箱の設置もあり、行事アンケートなど保護者の要望を反映させる機会はある。		
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				乳幼児の発達を理解・把握した上で作成・実践した。		
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				手作り遊具の園内研修も実施し保育環境の見直しをおこ行った。子ども自らが主体的に遊べる環境作りに努力をした。		
行事について	(1) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				コロナ禍、計画通りには実施できず縮小・中止が多々あったが、行事についての意義を職員間で討議・確認し合えた。		
	(2) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				会議等を通じて、活動の内容の検討を重ね、安全が確保された上で年齢に見合った取り組みをした。		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になるよう努力しているか。	○				能率的、合理的に進められるように更に学び、職員の意識を高めていきたい。	
		(2) 職務内容を理解し、協働できる体制になるよう努力しているか。	○				職員間の連携は取れており、協働体制の努力もみられ安定していた。	
		(3) 割り当てられた係や仕事を完遂する努力をしているか。	○				各自責任を持って遂行していたが、今後も更に協力しあつて完遂の努力をしていく。	
	運営	(1) 自己の職責を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			職員個々が組織の一員としての自覚と考えを持ち、実践したが、更に意識を高めていきたい。	
		保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような、具体的保健対策を行っているか。	○				コロナの影響もあり、園児は積極的にうがい・手洗い等の励行を実施した。年間通じて感染症などは少なかった。
	(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○				年間計画に基づき、防災避難訓練は毎月実施した。交通安全指導は小学校入学時を意識して3月に実施した。	
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○				定期的にお便りを配布し、保健専用の掲示板を活用してコロナ・感染症などの注意喚起を続けた。また、必要な方には個人対応も行った。	
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○				コロナ禍、研修・会議等は出来なかったが、メール・電話等で各方面との連携を取るよう努めた。	
	研修	研修	(1) 資質向上及び自己啓発に努めるための研修会には積極的に参加し、自己研鑽に努めているか。		○			コロナ禍、予定していた外部研修は参加できなかったため、職場でも受講が出来るよう整備中である。今後も研鑽に励み意識を高めていきたい。
			(2) 研修会、講習会、地域におけるボランティア活動に興味を持ち、自ら積極的に参加しているか。		○			コロナ禍、計画通りにはできなかったが、今後も意識を高めて各自の視野が広がるよう情報を共有していきたい。

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				最大の重要事項の一つととらえ、繰り返し確認を行い徹底に努めた。	
	(2)各表簿は、適正な時間・方法で作成、処理しているか。	○				職員が勤務時間内で処理できるよう工夫し、各自努力した。	
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行い、不都合が生じた場合には迅速な報告・対応・処置を行っているか。	○				毎月定期的に安全点検を行い安全確保に努めた。また、日常的にも職員は意識を持って危険回避に努め、出来る範囲で修理修繕を行った。	
	(2)不審者等に対する周到な配慮を行っているか。	○				計画に基づいて不審者侵入対応訓練を行った。職員が冷静沈着の判断行動をとる重要性を確認し、今後も意識を高めて行く。	
開かれた保育所づくり	家庭・地域との連携	(1)保護者や地域の人たちと連携しているか。	○				コロナ禍、地域との交流は出来なかった。収束した際には連携を深めていく用意がある。
		(2)乳幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。また、その意義を理解しているか。	○				コロナが収束した際は、年間計画に基づき、小中学校・介護施設・老人クラブ・地域の保育園などの世代間交流など交流する用意がある。
		(3)地域におけるボランティア活動に積極的に参加しているか。また、地域の文化や生活に触れているか。			○		例年は地域の清掃・シルバー会・施設訪問など参加したが、コロナ禍、園外活動は出来なかった。コロナの収束の際は参加していく意向である。
	子育て支援の連携	(1)地域の子育てセンターとして、保育園の実績や状況に応じながら事業を計画し、積極的に実施しているか。			○		定期的に看護師の育児相談を実施し、場合によっては他の専門職も対応する用意もある。コロナ収束後は、従来通り行事へのお誘いも実施する予定である。
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行う意義を理解しているか。また、交流を図ることに前向きであるか。	○				コロナ禍、実施出来ず。収束後は広く安全な園庭で園児や職員と十分に触れ合うなど利用して頂く用意がある。
	評外部	(1)地域の保育園理解に積極的に努めているか。また、保護者の意見を知る努力をし、相互の連携を図り、保育に反映させているか。	○				地域・保護者からの苦情があった際は、即対応する用意がある。保護者の行事アンケートなどによる意見は、検討して次に反映している。